

## QRコード情報を音声で再生 徳島の企業がスマホ用アプリ開発へ

2012.5.23 06:00



【拡大】

徳島県のITベンチャー企業などが商品に表示される2次元バーコード「QRコード」の情報を音声として再生できるスマートフォン(高性能携帯電話)用アプリケーションの開発に取り組んでいる。実用化すれば、文字情報が読みにくい高齢者や障害者にとって朗報で、QRコードの活用範囲も広がりそうだ。

QRコード情報を音声変換できるスマホ用アプリの開発を進めているのは、ITベンチャーのマイクロインテックス(徳島県小松島市)とテクノモバイル(東京都)。マイクロ社が米国のイベント運営会社ニューピープルの起案を受けて企画。今春からテクノモバイル社とともに実証研究などを行っている。

新技術の仕組みは、カラーQRコードの画像データをスマホに読み込ませ、今回開発中のアプリを起動させると、アプリの音声機能がコードの情報について自動的に説明する。

また、音声で情報を読み上げるだけでなく、読み取った情報に関する音楽も再生される仕組みになる予定という。マイクロ社の齊藤孝弘社長は「バリアフリーとともに、情報を楽しんで聞けるエンターテインメント性も感じられるアプリにしたい」と話している。

マイクロ社は、白黒のモザイク模様が一般的なQRコードをカラー化する技術を開発。今年1月から、法人向けにオーダーメイド受注を始めている。また、タッチパネルでの操作が苦手な人のため、スマホを振るだけで操作ができる新技術を開発するなどバリアフリー操作の発展に貢献してきた。

齊藤社長は関西の大学を卒業後、起業前は大阪府内で高校教師だったという異色の経歴の持ち主。「関西から発信する新技術を広めていきたい」と意気込んでいる。

近年、スマホなどで情報を効率良く閲覧できる技術が発展しているものの、高齢者や障害者でも簡単に使える「バリアフリー」操作が求められている。